



756号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



2024春闘! 各地域で2024春闘勝利に向けて動き始める!

1月31日(水) なかのNEEROホールで国民春闘共闘・東京春闘共闘が主催する「2024年国民春闘勝利!総決起集会」が開催され、次のような問題提起の後、全体確認を得て『総力をあげて24国民春闘をたたかい抜く決意』を固めました。

2023年は41年ぶりの伸びとなりました物価高騰、実質賃金は2ヶ月連続でマイナスが続き、私たちの暮らしは厳しさを増している。原材料価格の高騰やコロナ後の融資返済、さらには人材確保が進まない中小企業を中心に倒産が広まり始めている。

1月1日に襲った能登半島地震は多くの人命を奪い、インフラに甚大な被害をあたえた。1ヶ月が経つ今なお、被害の全容はつかみきれていない。その背景には自治体合併と職員削減による情報集約の遅れがある。また翌2日には羽田空港での日航機衝突炎上事故が起きた。事故原因の究明が待たれるが、背景には管制官の人員不足を指摘する声がある。共通するのは「コストカット経済」によって国民の暮らしや安全が脅かされていることである。

1月23日に通常国会が開会された。ただちに賃上げや物価高騰対策、能登半島震災復旧等の議論を破つた議員に資格はありません。政治不信を招いた岸田自民党総裁を筆頭に力ねにまみれた議員は全員辞職すべきである。

生活危機突破と要求実現、情勢の転換と打開、公務公私を取り戻す

2023年は41年ぶりの伸びとなりました物価高騰、実質賃金は2ヶ月連続でマイナスが続き、私たちの暮らしは厳しさを増している。原材料価格の高騰やコロナ後の融資返済、さらには人材確保が進まない中小企業を中心に倒産が広まり始めている。

1月1日に襲った能登半島地震は多くの人命を奪い、インフラに甚大な被害をあたえた。1ヶ月が経つ今なお、被害の全容はつかみきれていない。その背景には自治体合併と職員削減による情報集約の遅れがある。また翌2日には羽田空港での日航機衝突炎上事故が起きた。事故原因の究明が待たれるが、背景には管制官の人員不足を指摘する声がある。共通するのは「コストカット経済」によって国民の暮らしや安全が脅かされていることである。

1月31日(水) なかのNEEROホールで国民春闘共闘・東京春闘共闘が主催する「2024年国民春闘勝利!総決起集会」が開催され、次のような問題提起の後、全体確認を得て『総力をあげて24国民春闘をたたかい抜く決意』を固めました。

～2024年国民春闘勝利!総決起集会～

すためにも、24春闘の勝利は極めて重要な意義を持つ。月額3万円以上、時間給190円以上の引き上げ、全国一律最低賃金1500円以上、目指せ1700円を実現させよう。闘いの構えと方針を固め、仲間に依拠し励ましあって、産別統一闘争の前進、世論にも訴える準備を整えていくことが重要だ。コストカット経済からの転換、低賃金構造の打開を正面に据え、大幅ベースアップ・諸制度獲得へ、ストライキを構え、要求集約と職場討論の徹底、大衆的参加型行動と組織の拡大強化を追求しよう。

たたかう労働組合のバージョンアップ、低賃金と物価高騰から生活を守る大幅賃上げ・底上げを!軍拡・増税ではなく社会保障の充実を求め、矛盾を深めている多くの働く人たちの要求を実現する社会的賃金闘争・国民春闘を発展させよう。

2024年国民春闘勝利!総決起集会～活動の見える化～による組織強化や職場での日常活動の点検強化、検数経営の先行き不透明攻撃に負けない組織強化・拡大。さらには産別結集に向けた全組合員参加の取り組みが必要になると参加組合員に訴えかけました。

石渡中央書記次長からは、企業内諸要求に特化した「24春闘に向けた見解と展望」として、全日本検部会での要求内容の進捗状況と24春闘での展望。企業内諸課題を前進させるためには何が必要なのかということが話されました。



～全日本検九州24春闘才ルグ開催～

2月2日(金) 全日本検九州支部が24春闘オルグを開催し、中

央書記次長が参加した。

張していきました。

光部中央書記長からは、24春闘をたたかうにあたっての心構えとして『組織強化・拡大』『諸物価高騰から暮らしと生活を守る春闘』『平和問題』をテーマに話されました。

じくじく24春闘要求を前進させには『適正料金の確保・港湾コーナーへのアピール活動・産別統一闘争の前進、世論にも訴える準備を整えていくことが重要だ。コストカット経済からの転換、低賃金構造の打開を正面に据え、大幅ベースアップ・諸制度獲得へ、ストライキを構え、要求集約と職場討論の徹底、大衆的参加型行動と組織の拡大強化を追求しよう。

たたかう労働組合のバージョンアップ、低賃金と物価高騰から生活を守る大幅賃上げ・底上げを!軍拡・増税ではなく社会保障の充実を求め、矛盾を深めている多くの働く人たちの要求を実現する社会的賃金闘争・国民春闘を発展させよう。

2024年国民春闘勝利!総決起集会～活動の見える化～による組織強化や職場での日常活動の点検強化、検数経営の先行き不透明攻撃に負けない組織強化・拡大。さらには産別結集に向けた全組合員参加の取り組みが必要になると参加組合員に訴えかけました。



～ライドシェア反対院内集決起集会～

『ライドシェア』といふ名の自家用車を使った無許可タクシー(白タク)を合法化する動きに反対する院内集会を共闘組織である自交総連が開催し、石橋中央執行委員長が交運共闘副議長として激励のあいさつを行いました。

あいさつの中で石橋委員長はライドシェアの問題は利用者の安全確保にある。諸外国では強盗や性犯罪などが多発している。また、車両の整備や事故の場合の補償問題など様々な課題が山積していました。

交通共闘はライドシェア導入断固反対の声を上げ、自交総連の組合員の皆さんとたたかうと決意表明を行いました。

